



小平町議会 議長 岩倉 晃

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

輝かしい平成22年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には平素より当議会に対し、格別なるご支援とご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

顧みますと、昨年は町民の生活を脅かすような災害等の発生がなく、安心して暮らすことができたことは大変喜ばしいことであつたと感じているところでありますが、町を代表する農作物の水稲が春先からの低温、日照不足により平成16年以来の不作となつたことから、農家にとっては非常に厳しい1年でありました。

また、漁業においては一昨年、ホタテの浮遊幼生の付着悪化が原因となり、大多数が経営の圧迫を余儀なくされましたが、昨年並みの漁獲高まで回復したことは、漁家にとっては概ね順調な1年でありました。

しかしながら、国内景気は依然とし

て低迷を続け、派遣切りや雇い止めに代表されるような雇用不安に加え、一昨年から続く金融市場の混乱は実体経済にも大きな影響を与え、我々国民の生活に対しても更に暗い影を落としたほか、新型インフルエンザの流行や国内の治安に対しても重大な関心が寄せられたところであります。

さて、国内経済はデフレ局面を迎え、先行きが一層不透明な社会経済情勢にあつて、新政権下での事業仕分けや本格施行された財政健全化法など、とりわけ地方自治体を取り巻く行財政環境も一層厳しさを増す中で、自治体が果たすべき役割は益々重要なものとなつており、将来を見据え地域の実情に即した行財政運営が強く求められているところであります。

このような中、私も議会の果たす役割も益々重要となつており、地方自治の要として皆様の意見を聞きながら、生の声を町政に反映させるべく全力をあげて取り組むと同時に、高度情報社会により様々な情報が氾濫する中、情報の真意を的確に判断し、将来に向かつて最良な「小平町」のあるべき姿の羅針盤となるべく、議員一同、努力してまいる所存でありますので、今後ともより一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに町民皆様の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、小平町議会を代表して新年のご挨拶とさせていただきます。

新年ごあいさつ



姉妹都市 東京都小平市 市長 小林 正 則

新年明けましておめでとうございます。

小平町民の皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は政権交代により新内閣が誕生いたしました。私も、再び市政を担当させていただくこととなり、市長2期目として初めての新年を迎えることができました。初心に戻った気持ちで、小平町の皆様と、産業・教育・文化などの交流を通し、姉妹都市としての絆を深めてまいりたいと存じます。

ところで、昨年の小平市民まつりでは、小平市がピリアルをしていまずブルーベリーのマスケットキャラクター「ぶるべー」と一緒に町長様をはじめ、町議会議員の皆様もパレードに参加していただき、ありがとうございました。新型インフルエンザが猛威を振るう中ではありましたが、小平町の新鮮な農産物や海産物の販売を楽しみにしている方も多く、本当に大勢の

市民の方が参加致しました。一方小平町の産業まつりでは、皆様から心温まる歓迎を受け心から感謝申し上げます。

さて、日本は、未曾有の経済不況の中ではありますが、「朝の来ない夜はない」の格言のごとく、必ずや今年は明るい年になるものと信じております。

そして、小平市では都市近郊住宅都市として、利便性と環境に優れた活力あるまちを目標とし、2年後の市制施行50年を境に再び成長への力強いスタートを切りたいと考えております。

最後に、小平町のますますのご発展と、町民の皆様方のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます、年頭のあいさつとさせていただきます。

